

Monthly Report

Vol.45 広報室

平成22年2月26日発行

目次:

バンクーバー五輪が 閉幕	1
ハワイ大スクーリング 山形県教と調印	2
スポーツ賞	3
青年海外協力隊 体操競技部2名躍動	4
柔道部の活躍	5
漕艇部祝勝会 CO-Aピック	6
ネクタイ新発売 ブログ紹介	7

バンクーバーオリンピックが閉幕

～ 2014年ソチへと希望をつむぎ ～



日本時間の3月1日、17日間に渡る全ての競技を終え、バンクーバーオリンピックが静かに幕をおろしました。

スケルトン競技に出場する小室希選手(大学院2年)・越和宏選手(本学17回生)を応援しようと2月19日、20日 KMCH大会議室において開催した本学初のパブリックビューイングには小室選手の最初の滑走予定時間には、約150名ものチアガールを含む学生・教職員が大声援を送り10社(テレビ局4社、新聞6社)もの報道陣が詰めかけ、固唾を呑みました。これはNHKがインターネットで配信しているリアルタイムの映像を、同協会に正式に了解を得た上で大型スクリーンに投影し、実現したものです。

大変残念なことに小室選手の失格、越選手が20位という結果ではありましたが、オリンピックの雪辱は次のオリンピックで果たすべく、4年後のソチを見据えさらなる希望へと夢をつむぎます。

【競技結果】

氏名	競技種目	結果
小室 希選手(院2年)	女子スケルトン	失格
越 和宏選手(17回生)	男子スケルトン	20位
鈴木 寛選手(26回生)	男子ボブスレー2人乗り	21位
鈴木 寛選手(26回生) 土井川真二選手(32回生)	男子ボブスレー4人乗り	21位

学生の活躍や、取り組みをご存知でしたら広報室までお寄せください。Monthly Reportで紹介する他、報道機関にも旬な話題を提供していきたいと考えております。

また、本誌へのご意見・ご質問等がございましたら、広報室までご一報ください。

広報室

直通 0224-55-1802

内線 佐藤美保 256

土生佐多 200

伊東宏之 271

Email:kouhou@scn.ac.jp

海を越えて輝く学生達 Winter 2010

～ハワイ州立大学スクーリングピギナーズコース終了～



2月17日～22日(4泊6日)、ハワイ州立大学(UH)において、小西先生をリーダーにAT(アスレティック トレーニング)スクーリングのピギナーズコースが実施されました。

2003年12月から始まったこの取り組みは、「ピギナーズ」と「アドバンス」を合わせると今回で10回という節目を向かえ、参加した全7名の学生(体育学科2年生男子4名、女子3名)は、最初にUHの学生と英語でのコミュニケーションを図り、次に全米で唯一、アスレティックトレーナーを各公立高校に置くことを義務化しているハワイ州にて公立高校を訪問。実際にATC(アメリカ公認アスレティックトレーナー資格)として働いている方々の活躍を目の当たりにしました。



UHのATルームで働く本学の卒業生、鈴木のみさんらとの「座談会」では、本学初のATCとなった同先輩や、遠隔授業を指導下さっている金岡友樹氏他より、ハワイでの苦労談及び英語をマスターする方法など、体験者ならではの貴重なお話しに積極的な質問が飛び交いました。

最終日には、UHの女子バスケットチームとルイジアナ工科大学の公式試合に際し、コート内で2時間も前から選手のトリートメントのため準備に参加、さまざまな手伝いをさせていただき、頭も体もフルに使うスクーリング内容に学生達は体当たりで臨みました。

なお、この試合は、日本でも昨今活発になってきている「乳がん撲滅運動」(The American Cancer Society and Breast Cancer)に協力をする意味を込め、主催者より事前に選手や観客は何か「**ピンク**」(同運動のシンボル)の物を身につける声掛けがなされるなど、会場となったUHスタンシェリフセンターは、同運動に賛同する人達の**あたたかい「ピンク」**で埋め尽くされました。このように学生達は、スポーツが競技だけではなく文化や地域を支え、時には病に苦しむ方々への支援にもなりうる価値あるものだという事を、改めて学びとったようです。



参加した学生の一人である川田諒(かわた りょう)君は「見るもの、聞くもの全てに驚き、学ぶ意欲が多いに湧きました。事情が許せば是非アドバンスコースにも加わり鈴木先輩のような素晴らしい方々に接することで、もっともっと自分の可能性を広げていきたいです。」と目を輝かせています。間もなく学生達による「報告会」も開催されるそうで、それぞれの成果が発表されると共にスクーリングの11回目実施に向け、自由闊達な意見が交わされることでしょう。

山形県教育委員会と本学が協力協定



山形県教育委員会と本学は、スポーツの振興と競技力向上に関する活動、研究を推進することを目的として相互協力協定

を締結しました。

山形県が取り組んでいるスポーツタレント発掘事業「YAMAGATA ドリームキッズ」の中で、子供たちの体力測定データの分析や育成プログラムの策定・実施などで協力していきます。

2月9日(火)に山形県庁で行われた調印式では、山形県教育委員会の山口常夫(やまぐちつねお)教育長と朴澤泰治(ほうざわたいじ)学長が協定書に調印を行い、山口教育長は「トップアスリートの活躍は県民に喜びと活力を与えてくれる。協定の締結はたいへん心強い」と期待を込めて話され、朴澤学長は「仙台大学の持っている資源を提供し、隣県同士協力し合ってスポーツの振興、若い有望な人材の育成に寄与したい」と述べました。

この様子は、山形県のテレビ局や新聞社から取材を受け、大きく報道されました。

平成21年度 宮城県スポーツ賞

2月13日(土)に平成21年度宮城県スポーツ賞がホテル仙台プラザ(仙台市内)で行われました。オリンピックやそれに準ずる大会で好成績を収めた人に送られる「特別功績賞」は全部で8個人に贈られ、本学からは西村光生さん(体育学科2年)と田中美衣さん(体育学科4年)、OBの大元英照さん(漕艇部・アイリスオーヤマ)が受賞しました。「功労賞」も本学関係では4個人2団体が受賞しました。

選手名・団体名	所属サークル	大会名	結果
西村光生 (体育学科2年)	漕艇部	U23世界ボート選手権 舵手なしフォア	第2位
田中美衣 (体育学科4年)	柔道部	ユニバーシアード大会 女子63kg級	第2位
大元英照 (平成18年度卒)	本学OB	ボート全日本選手権 男子ダブルスカル	優勝

選手名・団体名	所属サークル	大会名	結果
石原夏海 (体育学科4年)	漕艇部	カヌースプリント選手権 女子カヤックペア1000M	優勝
佐藤寛大 (体育学科3年)	陸上競技部	日本学生陸上対校選手権 男子やり投げ	優勝
小室 希 (大学院2年)	B・S・L部	全日本選手権 女子スケルトン	優勝
亀山耕平 (体育学科3年)	体操競技部	全日本学生体操選手権 種目別あん馬	優勝
仙台大学漕艇部		全日本大学選手権 男子舵手付きフォア	優勝
明成高校男子バスケット ボール部		全国高校選抜優勝大会	優勝

平成21年度 柴田町スポーツ表彰式

2月24日(水)に槻木生涯学習センターにおいて柴田町スポーツ表彰式が行われ、「栄誉賞」2個人、「功績賞」8個人3団体が受賞しました。

受賞者代表謝辞では漕艇部の西村光生さん(体育学科2年)が「今回の賞を受賞できたのは、監督や仲間、周囲で支え、応援してくれた方々のおかげです。来年もこの賞が頂けるように精進していきたい。」と今後のさらなる活躍を誓いました。



氏名	サークル	大会名	結果
西村 光生 (体育学科2年)	漕艇部	U23世界ボート選手権 舵手なしフォア	第2位
田中 美衣 (体育学科4年)	柔道部	ユニバーシアード大会 女子63kg級	第2位

個人	氏名		サークル
	氏名	氏名	
個人	延味 由起	(体育学科4年)	陸上競技部
	佐藤 若菜	(体育学科4年)	
	斉藤 大輔	(体育学科4年)	
	佐藤 寛大	(体育学科3年)	
	亀山 耕平	(体育学科3年)	体操競技部
	宗像 陸	(体育学科2年)	
	小室 希	(大学院2年)	
団体	五味奈津実	(体育学科1年)	柔道部
	体操競技部		新体操競技部
	漕艇部		

青年海外協力隊として2名の学生が海外に渡ります



村橋綾子さん



齋藤まりさん

2名の学生が、来春から青年海外協力隊として2年間外国に渡り、国際貢献活動に参加します。

村橋綾子さん(体育学科4年)

女子ソフトボール部で主将を務めた村橋綾子さんが青年海外協力隊員として南米ペルーに渡り、ソフトボールの指導・普及・ナショナルチーム強化・現地指導者へのアドバイス等を行います。

昨夏、宮城県内で行われたインカレの補助をしていた村橋さんは、青年海外協力隊として活動した経験を持つ審判の方と出会い、現地での体験談を聞くうちに次第に興味を深めていったそうです。教員を目指している事から、この活動を通じて人間的な成長を目指すとともに中学校から取組んできたソフトボールで貢献したいと話しています。

齋藤まりさん(運動栄養学科4年)

障害者スポーツサポート研究部 C o - A c t . の

齋藤まりさんが青年海外協力隊としてマレーシアに渡り、障害者スポーツの普及・発展の使命を受けてマレーシアの各施設を巡回します。

マレーシアでは比較的動ける軽度障害者の間ではニュースポーツ等が盛んに行われているようですが、中等度・重度障害者についてはスポーツに慣れ親しむ環境が整っていないそうです。齋藤さんは他に派遣されている仲間と共に、マレーシア内の施設を巡回してニュースポーツやレクリエーションの指導・提供を行います。齋藤さんは中学時代から国際平和・国際協力に興味があり、パラオ介護予防教室で青年海外協力隊の方との出会いや、青年海外協力隊としてトンガで活動している高校の先輩の影響から活動を身近に感じ、志願したそうです。

2人共、2年間日本を離れる不安を抱く事もあるそうですが、互いに「他国であっても国際貢献という同じ意識で頑張っている仲間がいることが心強いし、支えになります。」と語り、「励ましあって、自分達のできることを一生懸命やります」と話しています。

2人は4月から約2ヶ月の研修を経て、それぞれの活動に加わります。

仙台大学のスポーツ・フォア・オール精神で、海外においてもますますの活躍を期待したいと思います。

体操競技部の2名がパシフィックコースト・クラシックで躍動

～日本チーム団体戦2連覇へおおきく貢献 種目別でそれぞれ優勝、3位に～



石原 大さん(右)、
宗像 陸さん(左)

日本体操協会の男子U21強化指定を受けている体操競技部の宗像陸さんと石原大さん(共に体育学科2年)が2月20日に米国オークランドで開催された2010パシフィックコースト・クラシックに

日本代表として出場し、日本チームの団体戦2連覇に貢献しました。この大会は21歳以下で競われる大会で、宗像は昨年に続く優勝メンバーとなりました。

種目別においても、宗像さんが得意の跳馬で優勝、床では宗像さんと石原さんが共に同得点で3位となりました。

宗像 陸さん

昨年は小さなミスが出てしまったが、今年は落ち着いて納得のいく演技ができました。

今大会の成績で満足することなく、4月に開催される全日本選手権で上位入賞が果たせるように今後の練習に取り組んでいきたいです。

石原 大さん

国際大会が初めてだったので緊張しましたが、自分の持てる力を出し切るだけ心掛けました。日本と違う環境で戦えたことは自信にもつながると思うので、よい経験ができました。

~~~~~  
なお、3月5 - 7日にはモントリオール(カナダ)で開催される体操ワールドカップシリーズに亀山耕平さん(体育学科3年)が出場します。あん馬で日本のエースにまで成長した亀山さんの金メダル獲得に期待しましょう。  
~~~~~

田中美衣さんが柔道のW杯ブタペスト大会で銅メダル



2月13、14日に柔道のワールドカップ・ブタペスト(ハンガリー)大会に女子63kg級日本代表として出場した田中美衣さん(体育学科4年)は、3位となりました。

3試合を全て一本勝ちで勝ち進んだ田中さんですが、準決勝では強引に仕掛けた技を返され「技あり」を奪われ敗れました。3位決定戦では内股で一本勝ちをおさめ、今後につながる大会となりました。

なお、田中さんは翌週の2月20、21日に行われたグランプリ・デュッセルドルフ(ドイツ)にも出場し、雪辱を期しましたが、5位という結果に終わりました。

柔道部の有賀享子さんが東北代表としてハワイ遠征へ



柔道部の有賀享子さん(体育学科3年)が全日本学生柔道連盟主催のハワイ海外遠征に東北代表として選出され、女子チームの監督を務める南條和恵監督と共に3月3-10日の日程で渡航する事が決まりました。ハワイでは副キャプテンを務め、対外試合の他、国際交流を図ります。

韓国光栄女子高等学校柔道部が本学で合同合宿実施



2月18-27日の日程で、韓国の光栄女子高等学校の柔道選手13名と指導者2名が来学し、

本学柔道部と合同合宿を行っています。光栄女子高等学校は全韓国大会の団体戦で数回の優勝、個人戦においても3名のチャンピオンが所属している強豪です。

また、玄淑姫(ヒュン・スクヒ)監督はアトランタ五輪で銀メダルを獲得した実績を持ち、同階級の南條和恵監督とも複数回対戦されたそうです。今回の合宿に至ったのは玄監督が本学で韓国体育大学校との合同練習の話や、外国人指導者の李コーチの大学の先輩に当たることもあり、現役時代から親交のある和恵監督に連絡が入り、受け入れる事が実現しました。

望んだ以上の練習環境での、「是非次回もお願いしたい」と話されているそうです。

柔道部優勝祝賀会



1月31日にパレスへいあん（仙台市内）において柔道部優勝祝賀会が行われました。今年度は、全日本柔道連盟シニア強化選手として田中美衣さん（体育学科4年）が数多くの国際大会に出場し、ユニバーシアード大会での団体・金、個人・

銀をはじめ、グランプリ大会やワールドカップでもメダルを獲得して世界ランキング7位となりました。世界のトップ選手16名で争うマスターズ大会でも銅メダルを獲得するなど、世界の田中へと成長し、インカレにおいても田中さんが63kg級で優勝、五味奈津実さん（体育学科1年）も52kg級で3位となるなど、柔道部全体のレベル向上が図られた年となりました。

さらに嬉しい事は続き、祝勝会当日に宮城県武道館行われた全日本選手権宮城県予選会（体重無差別）において田中さんと仲田直樹新助手が本学初のアベック優勝を果たし、嬉しさが倍増する会となりました。

祝勝会には大学関係者や柔道部OB・OG、柔道関係者あわせて約100名の参加があり、盛会裏に終了しました。

漕艇部優勝祝勝会



1月30日、ホテルメトロポリタン仙台を会場に漕艇部主催の「優勝祝勝会」が開催されました。当日は柴田町関係者、大学関係者など約85名が出席し、全日本大学ボート選手権、全日本選手

権での優勝の報告や、U-23世界選手権で日本ボート史上初の銀メダル獲得をもたらした西村光生選手（2年）などの紹介がなされました。

会の中で来賓の我妻柴田町議会議長からは「大学に掲げられている垂れ幕などで漕艇部の活躍は目覚ましいと感じていた。これからのますますの活躍に期待したい」という言葉をいただきました。また、朴澤学長からは「この春に柴田町ボート協会が設立される予定である。漕艇部の活動に対して理解していただいている方々のためにもぜひインカレエイトでの優勝を期待する」との挨拶がありました。

当日の出席者の中には漕艇部OB・OGの姿も多くあり、後輩や教職員との久しぶりの再会に話も弾んでいる様子でした。部員もインカレでの優勝という悲願達成のために気持ちを新たにしている様子でした。

第26回CO-Aピック



2月14日(日)に障害者スポーツサポート研究部CO-ACT.のイベント「CO-Aピックポッチャ大会」が本学で開催されました。CO-Aピックは高齢者・障害者へのニュースポーツの機会提供と健常者にもニュースポーツを広め、障害者への理解を深めてもらう事を目的に開催されているイベントです。11月に行った前大会では、新型インフルエンザの影響もあって参加者は減少しましたが、今大会には約150名の出席を得、賑わいました。横山宗平さん（健康福祉学科2年）は「参加者の方が楽しかったと直接聞いた事が励みになり、今後も続けて行きたいと思いました。」と話していました。

ネクタイ4柄が新販売になりました



仙台大学グッズの一つであるネクタイ（2種類）が完売し、新しく4種類（各50本）をつくり販売しております。絹100%素材で価格は4,000円です。タカトモスポーツで販売（春休み期間中は休館のため学生支援室で販売）しておりますので是非お買い求め下さい。なお、3月中旬には2,500円のポリエステル100%素材のネクタイ4種類も入荷予定です。

仙台大学オリジナルグッズプロジェクトチーム（P/T）を発足し、学内の承認のもとで仙台大学グッズを製作予定です。今後もより良い大学グッズを製作しますので、皆様のご提案等がありましたらプロジェクトチームメンバー（千葉勝彦、川村昭宏、土生佐多、三浦伸二、石森靖明）にお声掛け下さい。

楽天・川岸 強選手ブログ紹介 ～低酸素トレーニング～



東北楽天ゴールデンイーグルスの川岸 強選手がブログを始め、1月末に本学で行なった低酸素トレーニングが掲載(2/25更新)されています。

<http://plaza.rakuten.co.jp/kawagishi51/diary/>

蔵王アストリアホテル ブログ ～スキー～



スキーの様子の一部がアストリアホテルのブログにUPされました。ページ下の方の「スタッフの気ままブログ」に掲載されています。

<http://www.zaoastraea.com/>